



みすどかる

須坂小学校

「自分から」「つながる」
「認め合う」

須坂支援学校

「自分から、自分で、
せいっぱい」

住所:須坂市須坂 780

印刷:須坂小学校職員室

発行責任者:竹村信之(校長)

心をこめて「ありがとう」「おめでとう」

～「6年生に感謝する会」「6年生ありがとうの会」「3年生今までありがとうの会」～
卒業式が間近となり、3月6日(月)に小学校「6年生に感謝する会」と中学部「3年生
ありがとうの会」、8日(水)に小学部「6年生ありがとうの会」が行われました。

須坂小学校



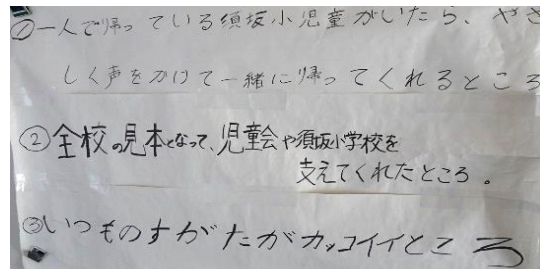
2年生は、中学校でがんばって!と力強いエールを送りました。



3年生は、心を込めて「あなたにありがとう」の歌声を届けました。



4年生は、工夫を凝らしたクイズで盛り上げました。6年生のすばらしいところも伝えてくれました。



①一人で帰っている須坂小児童がいたら、やさしく声をかけて一緒に帰ってくれるところ
②全校の見本児童、児童会や須坂小学校を支えてくれたところ。
③いつものすがたがカクコイところ



5年生は、6年生から引き継いだ鼓笛の演奏。6年生一人一人へのメッセージも送りました。



1年生は、インフルエンザ流行のため参加できませんでしたが、渡り廊下に手描きの6年生紹介ポスターを飾ってくれました。

各学年の発表は、「まわりの人を大切に
する温かな気持ち」「一人一人が責任を果たす
姿」「みんなで目標に向かって頑張る姿」
等々6年生のすばらしさ、そんな6年生への
「ありがとう」の気持ちがあふれていました。

今年の児童会テーマ「自慢できる須
坂小」の、まさに「自慢できる6年
生」でした。

「6年生の心」のバトンも5年生
にしっかりと引き継がれました。



6年生からは、スザカザスを通して、6年生が大切にしてく
たことを伝えてもらいました。ダンスもかっこよかったよ。

須坂支援学校

小学部の「6年生 ありがとうの会」は、そら組・ほし組・にじ組の在校生一人一人がかかわって作った会場装飾や贈り物、そしてにじ組で分担した司会進行やメッセージと、手作りのあたたかな会に、卒業生の2人が笑顔いっぱい、楽しいひとときを過ごしていました。



中学部の「3年生今までありがとうの会」でも、1・2年生から手作りのメダルと写真立て、そして学習発表「集大成」で3年生それぞれが演じたお姫様3人の衣装を色紙で装飾した大パネルが贈られ、最後は在校生と先生方のアーチをくぐって送り出される素敵な会となりました。小学部でも中学部でも、友だちや先生方とのあたたかな絆の中で成長してきた5人の卒業生の満足感と、これからも「自分から、自分で、せいっぱい 自分らしく輝く」生活を送ってくれることが期待できるよい表情が印象的でした。



今後の鼓笛学習のあり方について～「課外クラブ」を検討しています～

須坂小学校では、6年生全員「鼓笛」の学習に取り組んでいます。5年生の3学期に先輩から楽器を引き継ぎ、1年間練習と演奏発表を行っています（校内では運動会のマーチング・音楽会・ファイナルコンサート（コロナ前は入学式・卒業式での演奏）、校外では親善音楽会・えびす講等）。この3年間は、コロナ禍で活動が制限される中で、個人個人で練習を重ね、感染警戒レベルが下がってからパートごと・そして全体での練習に取り組む、すばらしい演奏を響かせています。毎年、6年生の卒業文集には多くの児童が、努力の大切さ、自分自身の成長の喜び、仲間と共にひとつのものを上げるすばらしさ・達成感等について綴っています。

しかし、過去にもお伝えしてきていることですが、現在の「6年生全員参加での鼓笛学習」のあり方には大きな課題があります。

一つは、鼓笛学習を週2時間の「総合的な学習の時間」の中で行っていることです。学習指導要領に示されている「総合的な学習の時間」の目標は「横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題解決や探究活動に主体的・創造的・協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。」というものです。鼓笛学習が児童の確かな成長につながっている一方で、鼓笛学習を「総合的な学習の時間」の授業に位置付けることは適切とは言い難いのです。

＜6学年で鼓笛を行うよさ＞

- 6年生の一体感、自覚、プライド
- 目標に向かって取り組む経験、達成感、自己肯定感、粘り強さ
- 伝統への自覚、プライド
- 音楽の良さにふれる、技能向上

＜課題＞

- 教育課程上の問題
 - ・本来の「総合的な学習の時間」として位置づけのむずかしさ（「音楽」の内容）
 - ・練習時間の確保（他の活動との兼ね合い）
- 楽器が苦手な子、やりたいと思えない子への配慮

もう一つは、楽器が苦手な子、やりたいと思えない児童への配慮です。これまでも、必ず鼓笛学習をしなければならないことへのプレッシャー（抵抗感・拒否感）から参加しない選択をする児童がいました。

こうしたことから、今後の鼓笛学習の在り方として、「6学年全員で取り組む鼓笛学習から、課外クラブとしての鼓笛学習への変更」を検討しています。具体的には、

- ① 参加者は高学年（4～6年生）の希望者とする。
 - ② 練習時間は、朝（または放課後）を基本とする。
 - ③ 発表の場を大切に位置付けるが、児童・保護者・職員に過度の負担がかからないよう配慮する。
 - ④ 令和5年度の6年生までは現在の形で行い、6年度に向けて変更していく。
- <理由>
- ・6学年の「総合的な学習の時間」が、子どもの願い・課題意識からスタートする探求的な学びという、本来の時間として位置付く。
 - ・多様な子どもへの配慮。
 - ・課外クラブとすることで、より主体的な活動となることや、年度をまたいで継続することでの技術的な向上が期待できる。
 - ・須坂小で取り組んできた鼓笛学習のよさ・伝統（鼓笛を通しての子どもたちの確かな育ち）は、今後も大切にしていきたい。

現在、上高井で鼓笛や金管バンドの学習がある小学校は表のとおりです。

「課外クラブ」への変更に向けては、まだまだ検討しなければならないことはたくさんあります。例えば、これまで新規楽器や消耗品の購入やメンテナンスの費用をPTAの会計から補助していただ

小学校	参加者	練習	発表の機会
栗ガ丘	4年生以上	週4日朝練習	音楽会、保護者発表会 六斎市 北信地区小学校交歓会
旭ヶ丘	4年生以上	週3回朝練習	音楽会 さよならコンサート メセナ吹奏楽の夕べ 北信地区 小学校交歓会
高甫	課内クラブ（年間6回）		
豊洲	器楽クラブ（金管なし）音楽会前のみ		
豊丘	今年度よりなし		

ていました。課外クラブとしたときに、個人負担になるものと、補助をお願いしていくものを明確にしていく必要があります。また、練習がすべて授業時間外となることでの児童・担当職員の負担を考慮して練習日・時間を考えていきます。学校職員だけでなく地域の方にも指導をお願いしていくことが可能か等々、合唱等の課外クラブの活動をしている他校の例を参考にしたり、児童・保護者・地域の皆様の声を聞いたりしながら検討を進めてまいります。

「第3回くぬぎの森学園運営委員会」が開かれました

須坂小学校・須坂支援学校の「信州型コミュニティスクール運営委員会」である「くぬぎの森学園運営委員会」が3月3日に開かれました。今回は、今年度の学校評価の結果や非違行為防止研修の実施状況、地域とかがわる活動についての報告しご意見をいただくと共に、2学期できなかった小学校・支援学校の授業参観をしつかりとしていただきました。

小学校の授業では、一人一台端末を活用した授業や、インフルエンザで学級閉鎖中のクラスのオンライン授業、今年度大事にしてきた「友とのおしゃべり（話し合い）」「学び合い」の授業を、支援学校では、翌週の「6年生ありがとうの会」「3年生ありがとうの会」に向けて一人一人が自分の力を発揮して準備している授業を見ていただきました。

参観後に右のような感想やご意見をいただきました。両校の良さを認めていただく感想をたくさんいただき、うれしく思うと同時に、慢心せず、これからさらに、子どもたちに確かな力が育つ学校づくりに、地域の皆様と一緒に取り組んでまいりたいと思います。



「先生が子どもに寄り添っていると感じた。子どもが黒板に向かって静かにしている、というのではなく、子ども同士が相談し合っている。昔と違うな、と感じた。」

「低学年は元気でガヤガヤしていても、先生の一言でまとまっていた。高学年はタブレットやスクリーンを使ってわかりやすい授業だった。」

「タブレットを器用に使っている。実際に字を書いて学ぶことも大切。」

「オンラインの授業は子どもも慣れればできるんだな、と感じた。」

「3年ぶりに授業参観をした。子どもの声が大きくあちこちから聞こえた。1年生の音楽、みんなで合奏をしていて、これが学校だな、と思った。」

「今は、家族以外の大人とのかかわりが少ない子どもたちだが、参観で張り切っている様子があり、地域交流の大切さを感じた。」

「みんな生き生きして楽しそうだった。支援学校は、家庭的な雰囲気の中、子どもたちが安心して過ごせていた。保護者も安心して任せられると思う。」

「支援学校では先生方が子どもの個性をよくわかって、子どもと一緒に楽しんでた。安心できた。こういう学校が近くにあったよかったです。多くの人に見てもらいたい。」

「Light it up Blue」 4/1(土)～9(日)に行います

4月2日は、国連が自閉症のことを知るための日として定めた「世界自閉症啓発デー」です。いやし・希望・おだやかを表す「青」をシンボルカラーにして、世界各地でイベントやライトアップなどが行われるようになりました。そして、4月2日から8日の一週間は「発達障害啓発週間」でもあります。

須坂支援学校では、昨年からこの期間、「みんなたいせつ、みんなのこせい」を合言葉に青くライトアップしています。今年も4月1日～9日に校舎をブルーでライトアップします。さらに今年は4月1日、前夜祭としてカウントダウンイベント（17:00～18:00）もやります。趣旨に賛同される方は、青いものを身につけて遊びに来てください（お子さんは家族と一緒にお願いします）。

4月2～8日は発達障害啓発週間
4月2日は世界自閉症啓発デー
Light it up Blue
@須坂支援・須坂小学校
みんなたいせつ
みんなのこせい
4月1日には前夜祭としてパントマイムやフラレールのイベントをやるぞん! みんな遊びに来てね!
4月1日～9日まで須坂小学校・須坂支援学校もブルーに光ります!ぜひ遊びに来てください!!

ちなみに、3月21日は、国連が定めた「世界ダウン症の日」。今年の世界ダウン症の日のテーマは、「With us not for us」（私たちの「ために」ではなく、私たちと「一緒に」）です。こうした機会を、「障がいって?」を知り、共に生きる第一歩にしていきたいと思います。